

〒143-0023 東京都大田区山王4-21-5  
山王ハイツ101

TEL 03-5743-2562 FAX 2570  
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和  
編集人 高山 浩

2012年  
9月1日  
第325号



http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

# ボーナス・定昇カットは不当労働行為だ! 名古屋地本カット地労委証人審問終わる!



名古屋地本が進めている「カット地労委」は、8月10日に行われた第7回証人審問で、申立人組合と被申立人会社全ての証人調べが終了し、区切りがつけました。この日、名古屋地本は金山・れあろで「愛労委勝利! 報告集会」を開催しました。山田委員長は「組合員・OB、そして他の地本が一丸となって、地労委闘争を闘い組織が強化された。命令が出るまで、最大限闘う」と決意を述べました。

キへの報復だとして、名古屋地本が2008年10月10日に愛知県労働委員会に救済申立を行った事件です。2008年12月9日の第1回調査を皮切りに、2011年9月26日まで、15回の調査が開催されました。その後、今年1月23日、ようやく第1回証人審問が始まり、計7回の証人審問が開催されました。組合側が労働委員会に提出した書類は、準備書面15通、上申書4通、陳述書26通という膨大な量です。証言台に立った組合員は、丹羽成生さん、谷口満さん、加藤正利さん、荻野隆一さん、吉田隆夫さん、越坂武さん、そし

て、OBの鈴木弘さんの7名で、会社の不当性を堂々証言しました。7回開催された証人審問に参加した組合員は、名古屋地本を中心に、OB、新幹線地本、静岡地本、新幹線関西地本を含め、述べ240名にも及びました。

組合が主張した点は、①JR東海労結成後、会社は敵視姿勢を貫き、組合の弱体化を目的として数々の不当労働行為を繰り返してきた事実、②主任レポートや時系列等報告書に反対していたJR東海労の運動方針に対する報復(当時、主任レポートは提出しなくても非違行為とは当たらないことを苦情処理会議の中で労働使で確認していた)、③加藤誠二さんの不当解雇に対するストライキの後、3割もの組合員がカットされたことは、報復攻撃であるという事実の3点です。

一方会社は、組合員のカット理由を記述した準備書面の提出を小出しにするなど、時間稼ぎをし

てきました。カット理由は、点呼、添乗などにおける注意指導を「非違行為」と大きく描き出し、「不良社員」のレッテルを貼ってきました。

この間の証人審問で明らかになったことは、東海鉄道事業本部約4,000名のうち、期末手当カット者は40〜50名、定期昇給減額では10名の社員がいることという事実です(第2回審問・中村明彦当時人事課長)。全社員数の3%にも満たないJR東海労組合員が、カット者の約半数を占める計算となります。また、会社は「非違行為」が概ね10件で期末手当カットの対象とするという主張をしていますが、勤務態度(5W1H方式で記入された注意指導)を入力した全社員のデータは膨大な量で、社員一人平均に直すと10件よりはるかに多い数値となることも明らかになりました。

今後は、10月1日に調査が開かれ、最終準備書面を提出した後、命令が出される予定です。



国民の反対をよそに再稼働した大飯原発。政府は夏場の電力不足を理由に強引に原発の再稼働に踏み切ったが、需要を大きく見積もると同時に、供給力を過剰に申告していたことが明らかになってきた。▼関電は5月にまとめた試算で、原発ゼロなら7月後半は8.2%の電力不足が生じるとしていたが、現実には最大ピーク時でさえ電力には余裕があり、更に、大飯原発3号機の180万kwを差し引いても余裕があった。▼7月5日に大飯原発3号機が送電を開始し、9日にフル稼働に入ったが、その一方で7月6〜9日にかけて合計8基の火力発電所の運転を停止しており、ここに関電の電力不足の演出がある。▼7月17日に今夏ピーク時の電力需要が最大となったが、電力使用率は、東京電力が91%に達し、中部は92%、北陸で90%を記録した。しかし、需要が厳しいとされてきた関西は89%だった。▼8月22日、作家の大江健三郎氏ら作家や弁護士らのグループが2025年度まで全原子力発電所を廃止するとの「脱原発基本法」制定を目標し「脱原発法制定全国ネットワーク」を設立したと発表した。更に連帯して反原発の闘いを進めよう!

# 建設ありきのリニアに待った!

## 「リニア中央新幹線建設に関する申し入れ」提出

本部は8月8日、「リニア中央新幹線建設に関する申し入れ」(申第10号)を会社に提出しました。

この申し入れは、昨年9月会社が行った中央新幹線環境影響評価方法書の説明会において、地元の自治体や住民から不安の声が相次いだにもかかわらず、会社が明確な回答をしていないため申し入れたものです。JR東海労は、この間の申し入れに対する労使協議の場が一度も開催されていないことについて、協約・協定改訂の団体交渉の中で、会社を追及していきまます。申し入れ内容は、以下の通りです。

1. 東京、大阪の建設費用は9兆300億円となっており、建設資金の調達方法、返済計画について明らかにすること。

2. 少子高齢化による人口減や、格安航空会社の相次ぐ就航、新東名高速道路の建設と開通などにより、リニア中央新幹線は採算が取れないと判断せざるを得ない。採算が取れないという根拠を示すこと。

3. 会社はリニアの使用電力について「電力会社の余剰な電力で十分まかなえる」との見解を示した。しかし、福島第一原発事故以来、各電力会社は節電を強く要請している。このような中、大電力を消費するリニア中央新幹線は節電に逆行するばかりか、国民に対する背信行為ともいえる。これについての見解を示すこと。また、JR東海独自で発電所を所有する計画はあるのか明らかにすること。

4. トンネル工事で排出される土砂の総量の予測、その搬出方法、保管・処理方法について明らかにすること。また、各地で行っているボーリング調査の結果を明らかにすること。なお、場所によっては重金属汚染、ウラン鉱床による放射能汚染が懸念されているが、

その対処方法を明らかにすること。

5. 計画沿線周辺には中央構造線、静岡―糸魚川線など多くの活断層がある。直下型地震が発生した場合、あるいは何らかの原因で大事故が発生した場合、どのような方法で避難誘導するのか明らかにすること。また、限られた乗務員で多くの乗客を避難誘導しなければならないという根拠を示すこと。

6. 会社は昨年、各地区で環境影響評価アセスメントについての説明会を開催している。その際、ルートは幅3kmを示し、具体的に特定できる場所が示されなかった。その後、関係自治体の環境影響評価審議と意見書の提出を受け、今後、関係地域の環境影響調査を行い、計画準備書を作成し関係自治体に提出するといふ流れである。その際に正式なルートと関連施設の建設場所を提示するとされている。以下について明らかにすること。

① 正式なルートと関連施設の建設場所を提示した後に、関係自治体の意見書が提出されるのが本来の流れだといえる。上記の流れたとすると、順序が逆であると言わざるを得ない。それについて会社の見解を示すこと。

② 関係自治体から出された意見を簡潔に明らかにすること。

③ 具体的なルート、駅、車両基地、変電所、立坑など関連施設の場所を明らかにすること。

④ 今後、説明会が計画されているが、希望する住民が全て説明を受けられる体制にすること。また、インターネットのみの申し込みは、パソコンを所持しない住民を排除するものだと考える。あらゆる広報手段により、説明会への参加を呼びかけること。

7. 大深度地下の上の住民、立坑近隣の住民、明かり部分の線路脇の住民にに対する配慮は考えているのか明らかにすること。

8月11日、沼津労政会館でJR総連静岡県協と静岡県東部地区9条連主催の「樋口篤三さんを偲び、平和と未来を語る会」が開催され、50名が参加

## 樋口さんの遺志を後世に! 「樋口篤三さんを偲び、平和と未来を語る会」開催



挨拶する樋口篤三さんの奥様

しました。静岡地本は〇Bを含め積極的に参加し、また、準備も進めてきました。樋口篤三さんは、沼津市の出身で、生涯労働運

## 夏だ! キャンプだ! 各地でサマーキャンプ開催



静岡地本はJR貨物労組静岡支部と合同で開催(8/4-5)【静岡梅ヶ島キャンプ場】



名古屋地本キャンプ(8/27~28)【駒ヶ根キャンプセンター】

動・市民運動に命をかけた、不屈の精神で闘ってこられた活動家です。『JRの「ドン」葛西の野望を警戒せよ!』を執筆しています。

しかし、2009年8月に開催された東部地区9条連主催の「沼津から和と未来へ」集会で講演したのを最後に、同年12月26日に他界されました。

渡辺実行委員長挨拶の後、国際労働総研四茂野の遺稿集が紹介されました。樋口篤三さんは「生前4冊の本を出す」と言い残し実現出来ませんでした。集会は終了しました。

フリートークの後、戦略・戦術を駆使して闘うことが全体で確認され、